

ロクハ公園プール基本計画（修正案）について

1. ロクハ公園プールの再整備内容について

ロクハ公園プール検討委員会の意見や民間事業者とのサウンディングを基に、基本計画（案）の基本方針・必須機能・任意機能を前提としたイメージ図を作成しました。

※別添イメージ図参照

基本計画（案）より抜粋

基本方針 地域に愛されるレジャープールとしての魅力向上

必須機能

- 流水プール：現在も特に人気の施設である遊泳用の流水プール
- スライダープール：小・中学生以上を対象としたものに加え、低学年でも利用できる施設
- 幼児用遊水プール：小学生未満の幼児が保護者と一緒に水と触れ合える空間を想定した施設
- アトラクションプール：プール遊具等で小・中学生等がアクティブに遊べる空間を想定した施設
- 管理棟：トイレ、更衣室等の衛生面や利便性に配慮した快適に利用できる施設
- プールサイド：利用者が安全に安心して利用できる仕様。屋根付き休憩スペースの設置
- 休憩スペース：オフシーズンも多目的に活用できる屋根付きで空調完備の施設
- 飲食施設：利用者ニーズに対応できるもの
- その他機能：利用促進・利用満足度の向上に繋がるプール施設や、健幸ステーション等

任意機能

- 芝生広場：利用者の憩いの場となる空間
- 売店施設：利用者にプール関連等のサービスを提供する売店施設

2. ロクハ公園プール概算工事費について

ロクハ公園プールの再整備にかかる概算工事費を算出しました。

現在の機能のまま更新する場合・・・

令和4年時点の想定金額から令和9年度事業として

算出すると **約10億円** の増額

工事費上昇の要因

- ・円安による輸入物価の上昇
- ・令和7年度開催予定の大阪・関西万博の開催による影響
- ・建設業における技能者不足や、週休2日制度の実施等に伴う労務コストの上昇
- ・ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因による原材料価格の上昇

想定以上の工事費上昇を踏まえ...

海外の経済・物価動向、資源価格の動向、企業の賃金・価格設定など、日本経済・物価を巡る不確実性はきわめて高い状況であるが、大阪・関西万博後の物価動向および円安の状況を注視すべきと考えます。

よって、スケジュールを下記のように変更したいと考えます。

また、現プールについては、現時点では、都度補修を行いながら令和7・8年度も運営していくこととしていましたが、下記のスケジュール案では更に1年、同様の運用となります。

3. 今後のスケジュール

以上の結果を踏まえて、今後のスケジュール（案）を検討しました。

現 在

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度～令和27年度
基本計画策定	事業者募集・選定	公民連携事業				
		（設計・建設）期間		（維持管理・運営）期間		
現プール運営 （指定管理者制度）			プール休止 （公民連携事業者）		新プール運営 （公民連携事業者）	

変 更

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度～令和28年度
基本計画策定	事業者募集・選定	公民連携事業					
		（設計・建設）期間		（維持管理・運営）期間			
前プール運営 （指定管理者制度）	現プール運営 （指定管理者制度）		現プール運営 （指定管理者制度） ※	プール休止 （公民連携事業者）		新プール運営 （公民連携事業者）	

※現在の指定管理者で1年延長を検討

今後の検討状況等により、見直しとなる場合があります。